



人間学塾・中之島

塾 是

- 森 信三先生を始めとした先哲に学ぶ。
- 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
- 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。

第四期 塾生募集 案内

三大綱領

◇ 念々志学

— 生涯学習を

目指しましょう

◇ 念々心願

— 一步貢献を

念じましょう

◇ 念々感謝

— 師恩友益に

目覚めましょう

「三つの誓い」

一つでいい 一つがいい 小さな一つを やりつづけよう [行持]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 願いをもとう [心願]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 実を結ぼう [結実]

当塾の前身は「天分塾」にあり、源流は江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懐徳堂」「心学講舎」などにある

ああ 中之島

作詩 寺田一清
作曲 小川けい子

(一) 名も高き 水の都の

なにわの地 ふかき伝統

うけつぎし 人間学塾

この地この時 ああ中之島

(二) 願いこめ この日の本の

再生を 心に秘めて

努めんや 心願達成

共に手をとり ああ中之島

(三) 天仰ぎ 地にひれ伏して

願わくば 師恩の光り

しみじみと 念々感謝

この学び舎に ああ中之島

この学び舎に ああ中之島

<http://www.nnakanosima.org>

人間学塾・中之島 検索

開講日・会場

- ◆ 毎月第2土曜 会場の都合により変更があります。
午後1時より午後5時まで
- ◆ 研修会場
大阪大学中之島センター
10階 佐治敬三ホール
- ◆ 年間2回の宿泊研修
H27年11月(和歌山県・高野山宿坊)
H28年 3月(京都市・仁和寺御室会館)
- ◆ 郊外学習「先哲 ふる里訪問」
H28年4月 下旬予定
- ◆ 塾生講話
塾生による実践講話

◆大阪大学中之島センター (TEL.06-6444-2100)
大阪市北区中之島4-3-53



電車によるアクセス・京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

受講費

年間 78,000円 (分割払いも可。相談応)

◆ 但し、学塾・中之島/旧天分塾卒業者は、年間 68,000円

◇ 宿泊研修 11月・3月 一泊二日 (実費15,000円程度)

◇ 必要に応じて懇親会開催 (実費) : 同会場交流ホール他(9F)

年間研修日程

開講日	講師	テーマ
平成27年		
9月12日(土)	入塾式	
10月17日(土) (※ 第三土曜)	旭堂南左衛門	「講談 大石順教尼物語 講談に観る人心の掴み方」
11月14日(土)	相田一人	「相田みつを肩書きのない人生」
宿泊研修		
11月15日(日)	浅井周英	「師ありてこそその人生」
12月12日(土)	上甲 晃	「地に足をつけて」
平成28年		
1月9日(土)	鍵山秀三郎	「掃除実践60年の (人生と生き方)」
2月13日(土)	横田南嶺	「夢窓国師に学ぶ」
3月12日(土)	竹村亜希子	「龍が教える帝王学～ 中国古典「易経」～龍はなぜ雲 と共にいければならぬか」
宿泊研修		
3月13日(日)	佐藤敏郎	「小さな命の意味を考 える～あの日の大川小学校 の校庭に学ぶ～」
4月9日(土)	今野華都子	「古事記に学ぶ やまとごころ」
5月14日(土)	池川 明	「胎内記憶から考えら れる人生とは」
6月18日(土) (※ 第三土曜)	柴田秋雄	「日本一幸せな 従業員をつくる」
7月9日(土)	石 平	「我が子に教えたい 日本の心」
8月13日(土)	卒塾式	

《事務局》 〒648-0094
和歌山県橋本市三石台4-1-15
「人間学塾・中之島」 宮本 内
TEL0736-38-3669・FAX0736-38-3680
E-ﾌﾞｯｸｽ mm3724@skyblue.ocn.ne.jp
携帯 090-1671-4725

《当代一流の講師陣》



きょくどうなんざえもん
旭堂南左衛門

1954年兵庫県三田市に生まれる。本名西野 安彦。野球と酒をこよなく愛す。1976年三代目旭堂南陵に入門、南学を貰う。1987年真打昇進、南学を改メ南左衛門を創名。1991年第8回咲くやこの花賞受賞。1993年東京国立演芸場 花形演芸会金賞受賞。2005年上方講談協会会長に就任。最近「講演・講談の世界に観る戦国武将の人の心の掴み方」を各地で講演し、好評を博す。



あいだかずひと
相田一人

1955年栃木県足利市に生まれる。相田みつをの長男。相田みつを美術館館長、出版社勤務を経て、平成8年、東京銀座に相田みつを美術館を開館。「じぶんの花を」本気などの編集、監修に携わる。著書に「父 相田みつを」(角川文庫)「書 相田みつを」「相田みつを 肩書きのない人生」(文化出版局)がある。2003年11月、東京国際フォーラムに新美術館をオープン。現在、美術館業務の傍ら、全国各地で講演活動や執筆活動を行っている。



あさいしゅうえい
浅井周英

1936年3月和歌山市小瀬田 浄土真宗「遍照寺」に生まれる。小・中学校教諭を経て、1992年和歌山市教育委員会教育長。1996年和歌山市助役。2001年「教円幼稚園」園長。2005年一般社団法人「実践人の家」理事長、2013年に退任。「命の大切さを育てる心の教育」をテーマに数多くの講演をこなす。



じょうこう あきら
上甲 晃

1941年大阪市に生まれる。1965年松下電器産業(株)に入社。1981年財団法人松下政経塾に出身。理事・塾頭を歴任。1996退社し志ネットワーク社を設立。1997『青年塾』を創設。現在第19期生を迎え、累計約1500名を超える。『志のみ持参』『人間として一流をめざす』『人生に無駄な経験などひとつもない』著書、CD・ビデオなど多数。



かぎやまひでさぶろう
鍵山秀三郎

1933年東京に生まれる。疎開先の岐阜県立東濃高等学校卒業。1961年「ローヤル」を創業。1997年(株)「イエローハット」に社名変更。同社創業者。NPO法人日本を美しくする会相談役。各地の講演に招かれきわめて多忙。現在も下坐行の凡事を実践中。『凡事徹底』(致知出版社)『正しく生きる』(アスコム社)など著書多数。

第四期 講師紹介



よこたなんれい
横田南嶺

1964年和歌山県新宮市に生まれる。1983年筑波大学に入学。東京都文京区白山道場龍雲院 小池心叟老師について出家得度。1987年筑波大学卒業、京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行。円覚寺足立大進老師に嗣法。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。『祈りの延命十句観音経』、法話集『いろはにほへと』など著書多数。



たけむらあきこ
竹村亜希子

易経研究者。東洋文化振興会相談役。中国古典「易経」を、占いでなく古代の叢知の書として、わかりやすく紹介。全国の企業、官庁で講演やセミナーを開催。易経全文を読むのに10年をかけるNHK文化センター(名古屋)「現代に生きる『易経』講座」は今年で18年目に入る。



さとうとしろう
佐藤敏郎

1963年宮城県に生まれる。前東松島市立矢本第二中学校教諭。小さな命の意味を考える会 代表宮城県の女川町、東松島市の中学校教諭として国語、防災を担当。震災で当時石巻市立大川小学校6年生の次女が犠牲に。現在はNPOキッズナウ、NPOカタリバ等で活動。女川さいがいFMのパーソナリティも務めている。



こんのかつこ
今野華都子

株式会社アイテラス代表取締役社長。第一回LPG インターナショナルコンテスト L6 (フェイシャル部門)において日本最優秀賞を受賞し、2004年12月フランスで審査の結果、世界110ヶ国の中で最優秀グランプリ(世界一位)を受賞。タラサ志摩スパ&リゾート取締役社長、カルナフィットネス&スパ代表取締役社長などを経て現職に至る。



いけがわあきら
池川 明

1954年東京都生まれ。帝京大学医学部修了。医学博士。上尾中央総合病院産婦人科部長を経て、1989年横浜市金沢区に産産を扱う有床診療所池川クリニックを開設。毎年100件ほどのお産を扱い現在に至る。2001年9月、全国保険医団体連合医療研究会で『胎内記憶』について発表したのが、話題となる。そこから考えられる豊かな人生の考え方を、お産を中心に提唱している。

※ 講師は、都合により講師の推薦する方に変更する場合があります。



しばたあきお
柴田秋雄

1942年11月岐阜県津川市生まれ。1961年日本国有鉄道に入社。1977年労働組合の専従となる。書記長、事務局局長を経て、1994年より名古屋ケミカル株式会社販売促進部次長、常務取締役総支配人を歴任。2005年代表取締役専務総支配人に就任。2010年総支配人を卒業。2011年アジア志友館開設、同代表に就任。2013年一般社団法人アジア志友館設立、理事長就任。著書多数



せき へい
石 平

1962年、中国四川省に生まれる。北京大学哲学部を卒業。1988年来日。神戸大学文化科学研究科博士課程修了後、民間研究所勤務。2002年に『なぜ中国人は日本人を憎むのか』(PHP研究所)を著して中国における反日感情の高まりについて警告を発して以来、評論活動に入る。現在は拓殖大学客員教授。中国問題・日中問題を中心に執筆・講演・テレビ出演などの言論活動を展開。産経新聞本紙にて「石平のChina Watch」隔週コラム連載中。著書多数

塾生の塾生による塾生のための塾

第四期 人間学塾・中之島

平成27年9月より平成28年8月

募集定員100名

名誉顧問 寺田一清
顧問 清水正博

世話人

代表 細川三郎
副代表 宮武清寛
同 中川千都子
世話人 石井信次 今西健二
加藤昌夫 佐野満子
西村俊幸 古田修平
松本 学 宮本真弓